

神郷校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成25年7月30日(火) 19:00~20:30
場 所 神郷公民館
参加者数 男69人 女6人 合計75人



1. 校区の課題

課題名 (神郷公民館前市道拡幅と神郷小学校体育館側出口のミラー設置について)

質疑応答 (要約)

県道～神郷公民館側への市道は、南半分の拡幅が残っています。

昨年の説明では、学校敷地内に個人所有の土地があるため整備ができないとのことでしたが、南半分の拡幅について今後の見通しや取り組みを説明してください。

また、神郷小学校体育館側の出口については、学校関係者及び体育館利用者から、学校から出る際に左右の見通しが悪いとの声が多く寄せられており、自転車や歩行者との接触による事故の発生が懸念されます。

このため、学校敷地から県道への出口での交通安全対策として、両サイドにミラーを設置してください。

→ご要望の南側区間につきましては、新居浜市が学校用地として借地している私有地があり、学校用地として使用している個々の土地の境界が確定しておらず、道路用地を取得するには学校全体の広い範囲で測量等を行う必要があります。

新居浜市としましては、拡幅により道路の利便性や安全性が向上することは認識してお

りますが、要望箇所につきましては、現状で市道認定基準である幅員 4.0 m（現況 4.6～4.7 m）は確保されておりますことから、用地境界等土地の取得に関する条件が整えば検討してまいりたいと考えます。

神郷小学校体育館側の出入口は、敷地内の樹木により見通しに影響が出ています。西側については低木であるため、先日学校で樹木を剪定して改善されましたが、東側については高木であるため、伐採による対応は難しい状況となっています。そのため、安全対策として、東側を確認できるカーブミラーを設置いたします。

※ 再検討事項

特になし。

課題名（忠魂碑山入り口周辺の法面整備について）

質疑応答（要約）

神郷校区まちづくり委員会では、地区の貴重な歴史遺産を後世に伝える活動をしています。落神地区にある忠魂碑山の整地については、2日間、延べ140人あまりの参加者で進入路周辺の伐採を行い、見通しもよくなりました。秋には桜の植樹やあじさいの挿し木も予定しております。

忠魂碑山周辺は土砂災害の危険区域となっていますが、林道法面については忠魂碑進入路～又野山荘入口までの区間が土のまま未整備の状態です。周辺は住宅地でもありますので、早急に法面整備を進めてください。

→忠魂碑進入路～又野山荘入口までの林道法面については、住宅地に面する箇所があり、法面整備の必要性は認識しております。

整備手法といたしまして、愛媛県直営の治山事業、市が事業費の1/2を負担して行う県単独治山事業を想定しており、事業採択に向け愛媛県と協議を行っております。

地元の皆さんの強い要望もありますことから、愛媛県東予地方局森林林業課に早期着工に向け協議を継続いたします。

※ 再検討事項

特になし。

課題名（交通安全対策と信号機の設置について）

質疑応答（要約）

下郷、上郷及び散田自治会を二分するよう通っている県道多喜浜泉川線は交通量が著しく増加しており、城下橋付近に24時間スーパーが、近々開業予定となっているなど、道路を横断する子どもたちや高齢者にとって危険性が増しています。

中でも、一梅酢前、神野石油前及び下郷自治会館前では道路を横断する歩行者が交通事故に遭っていることから、死亡事故などが起こる前に、安心して県道を横断できるよう信号機の設置に取り組んでください。

また、昨年の集会では交通量の実態をふまえた要望の取り組みをお願いしましたが、その後の対応状況と交通量の実態について説明をお願いします。

→信号機の設置につきましては、毎年、市から警察へ設置要望を行っているところですが、設置箇所につきましては「道路状況等を総合的に判断して優先順位の高いところから設置しています。」とのことですが、実際、県内に新設される信号機は年5基ほどということです。

新居浜市としましては、地元要望箇所に少しでも早く信号が設置されますように、警察及び県に対し今後も引き続き要望して参ります。

※ 再検討事項

信号機設置の優先順位をもう一度整理して警察に要望する。

2. その他

なし